

小田原市観光アンケート調査結果 総括、調査概要 2022

一般社団法人 小田原市観光協会

I 調査方針

小田原市の観光施策を総合的、計画的、効果的に推進するためには、地域における観光客の状況を的確に把握し、信頼性の高いデータに基づく観光政策の企画立案を行うことが必要であり、観光統計の整備は喫緊の課題となっている。

そこで、小田原市観光協会では、令和4年度から、インターネットを活用し、小田原に来訪した観光客について、広く様々なデータやご意見を把握することで、観光を取り巻く観光の変化や課題等をとらえ、観光施策の基礎資料とすることとした。

有効回答数の確保や調査地点・調査時期による回答の偏りをなくすため、一年を通して調査を行うこととし、あわせて多くの観光客が手軽に都合のよい時間に回答できるよう、インターネットを活用した調査を実施することとした。

II 調査内容

調査項目は、性別、年齢、居住地（市町村）のほか、小田原を訪れるきっかけとなった情報源、小田原での訪問先、小田原への交通手段、来訪回数、来訪人数、同伴者、旅行日程、滞在時間、旅行先決定理由、満足度、小田原の感想、観光消費額、今後参加したい観光テーマの全13問で構成した。

III 調査結果概要と課題

令和4年4月～令和5年3月の約1年間で、3568名から回答があり、その主な内容は次のとおりだった。

- ・小田原への来訪者は、神奈川県在住の40～50代の女性が多い。
- ・来訪したきっかけは、「旅行の途中で立ち寄った」という方が2割おり、小田原が乗り換えや伊豆箱根の入口として利用されていることがうかがえる。
- ・滞在時間は3時間～半日程度という方が多い。
- ・訪問先は、「小田原城天守閣」が高い比率を示すが、「ミナカ小田原」にも3割以上の方が訪れており、新たな観光施設となっている。
- ・家族（特に夫婦）で、自家用車を利用して、日帰りで訪問している方が多い。また小田原来訪は2回以上という方が7割以上を

- 占め、4回以上という方も5割以上おり、再度訪問したいと回答した方は9割以上であることから、リピート率は高いといえる。
- ・小田原の旅行全体の満足度は高く、小田原を友人に紹介したいと思う方が9割を超えるなど、小田原に対する印象度も高い。
 - ・消費額については、飲食代、お土産代に2000～3000円消費する方が多い一方、お土産代や施設入場料は消費なしという方も一定数おり、特に宿泊は8割近くがしていないと回答している。
 - ・今後参加したいテーマとしては、「食文化」「歴史・史跡」「花めぐり」がベスト3となっている。

なお、令和4年度の小田原市の入込観光客数は726万人、小田原観光協会アクセス数は280万PVを数えている中での結果である。令和4年度から新たにインターネットを利用したアンケート調査を行ったが、令和3年度のはがき及び対面での調査結果では、「女性」「50代」が多かったことから、インターネットに不慣れな方の回答が少ないことも考慮すべきであり、今後の課題と考える。

IV 課題からみた今後の方向性

調査結果から見た課題を整理し、令和5年3月に策定された「小田原市観光戦略ビジョン」に沿った内容で、具体的方向性を次のとおり検討した。

- (1) 首都圏、特に県内からの中高年のリピーター客が多いことから、首都圏、神奈川県東部中心をターゲットとして、様々なプロモーションを実施することで、更なる誘客を目指す。
- (2) 若年層の来訪客が相対的に少ないことから、アクティブティな体験プログラムなどをHPやSNSなどを活用して、広く発信する。
- (3) 天守閣や城址公園を活用したプログラムや、観光交流センターとタイアップした企画などを実施し、更なる回遊性を図りながら、観光客の滞在時間の延長を図る。
- (4) 今後参加したいテーマとして、「食文化」「歴史・史跡」「花めぐり」がベスト3となっていることから、テーマに沿ったプログラムを推進する。
 - ① 「食文化」・・・小田原市の推進する「美食のまちづくり」との連携を図る。
 - ② 「歴史・史跡」・・・推進している「まち歩き観光」の更なる充実を図る。
 - ③ 「花めぐり」・・・花めぐりスタンプラリーなど、季節の花を活用したプログラムを検討する。
- (5) 小田原市民の観光に関するアンケート調査を検討する。その内容を検証することで、小田原市観光の更なる充実を目指す。

【調査概要】

- 期 間 令和4年4月30日（土）～令和5年3月31日（金）
- 目 的 小田原へ来訪している観光客の属性、旅行形態、消費額、観光ニーズ、再来訪意向などの調査を実施することにより、観光客の経年変化やコロナ後における変化を確認し、小田原における今後の観光施策の基礎データとする。
- 方 法 小田原市内にあるチラシ、ポスターから2次元バーコードを読み取り、インターネット（スマートフォンやパソコン）を利用して、アンケートに回答してもらう。
- ツール アンケートツール：Questant（クエスタント）
- 対象者 小田原に来訪した観光客
- 回答数 3,568名（うち小田原市民95名）